

小海中だより

2022. 8. 25
NO. 5

小海中学校ホームページ<<http://www.koumi-jhs.ed.jp/>>からもご覧いただけます。



2 学期始業式

2 学期が始まりました。これから長い 2 学期に向けて各学年から目標を発表しました。

「2 学期の決意」

夏休みが明け 2 学期が始まりました。私は 2 学期に向けて三つの目標を立てました。まず 1 つ目は勉強についてです。テストで 400 点以上取るために、得意な社会や理科は授業を集中して受け、理解してケアレスミスも少なくしていきたいです。そして苦手教科の国語や英語は、得意教科の 1.5 倍以上の勉強時間を取って点数を上げたいです。

2 つ目は信頼関係を強くすることです。南相木小から来て周りは知らない人が多く不安でしたが、話していく中で徐々に信頼できる人が増えてきました。なのでクラス内での自分の信頼をさらに高めるために、普段から友達と協力して学校生活を送りたいです。3 つ目はクロスカントリースキーのタイムを 1 km で 15 秒縮めることです。そのために筋力・持久力・心拍のトレーニングをバランス良くつづけていきたいと思ひます。この目標を大事に 2 学期もがんばりたいです。



1 年宮村 連汰良

「2 学期に向けて」

私が 2 学期特になんげりたいことは 2 つあります。

1 つ目は学習です。一学期の初めてのテストを終えてもっと勉強をていねいにやっていたらと思うところがいくつもありました。期末テストは中学校に入学して 4 回目の定期テストでした。2 学期はもっとテスト勉強の仕方を工夫したいと思ひました。もちろんテストだけでなく、毎日の宿題や授業も 1 つ 1 つていねいにやっていたらと思ひました。

2 つ目は部活動です。一学期に吹奏楽部は吹奏楽東信地区大会があり、そのための練習をがんばってきました。2 学期には清流祭があり、そこでの吹奏楽の演奏が 3 年生と演奏できる最後のステージになります。三年生の先輩から教えていただいた事をしっかりと活かせるようにこれからもっと練習を頑張っていきたいです。この二つの事を目標にして 2 学期も充実した学校生活を送りたいです。



2 年石井 日菜

「2 学期の目標」

修学旅行や高校体験入学が終わり受検に向けてさらに力を入れていく 2 学期になりました。私は 2 学期に頑張っていきたいことが二つあります。

1 つめは清流祭です。3 年生になり清流祭までの委員会活動がさらに忙しくなっています。自分のできることは率先して行っていけるようにしたいです。音楽祭では、人数が少ない分、自分から声を出しクラス・学年で心を一つにきれいな合唱にしたいです。

体育祭では、どの競技も精一杯取り組んで行きたいです。最後の清流祭ですがみんなとの良い思い出になれば良いです。

2つめは受験勉強です。一学期の定期テストでは勉強不足の教科が多かったので、目標点を下回ってしまいました。二学期は毎月のように総合テストがあります。1年生から3年生までの全範囲ですが、自分に合った勉強方法で、一回一回を受験のための勉強として取り組んでいきたいです。少しずつでもよいので、希望進路を実現するために、復習したり、分からないところを質問したりしながら頑張っていきたいです。以上、二つのことを中心に頑張っていきたいと思います。八十五日という長い2学期を健康に気をつけて過ごしていきたいと思います。二学期の終業式に、充実した学期だったと思えるように過ごします。



3年小池 柚葉

校長講話から

2学期始業式 主語は「私」

いよいよ2学期が始まります。先ほど、宮村連汰良さん・石井日菜さん・小池柚葉さんからそれぞれの目標の発表がありました。

みなさんはどんな2学期を過ごして、どんな自分になりたいですか。まずはちょっとがんばれば実現しそうな目標を定めるのもよいと思います。2学期がスタートする今日は、これからの自分について考える1日にしましょう。



2学期は85日間です。1学期に学んだことをさらに本物の力にするチャンスです。さまざまな行事や活動もあります。自分を成長させるチャンスです。主語は「私」です。なんとなくみんなと一緒にいないと勉強できないとか、誰かに言われないとその気になれないとか…ではなく、「私」(自分)が感じて、考えて、このことをやろうと決めて、失敗を恐れずにチャレンジするのです。

それが「自学自習」ということです。

あなたはどんな2学期を過ごして、どんな自分になりたいですか。みなさんの目の前にある新品の黒板に、みなさんのどんな学びが刻まれていくかがとても楽しみです。期待しています。

まだまだとても暑い夏が続いています。新型コロナウイルス感染症や大雨による災害、熱中症など、全国各地で厳しい状況が続いています。命を守ることは何よりも大切です。これまで以上に、

基本的な予防対策を意識して続けましょう。そして想像力でみなさんの優しさを広げてほしいと願っています。

最後に詩を紹介します。まずはこれを見てください。

「6」「9」「15」 「8月の…」というところではないでしょうか。

8月6日・9日は広島・長崎に原子爆弾が投下された日です。8月15日は終戦の日です。

「77」今年で77回目を迎えます。日本の夏は、みなさんのおじいさんやおばあさん、ひいおじいさんやひいおばあさんが体験された戦争のことを考える貴重な機会でもあります。また、みなさんも知っているように、今この時にも世界では戦争で傷つき命を失っている現実があります。

紹介する詩は小学2年生の女の子が書きました。6月23日の沖縄での追悼式で発表されたものです。沖縄にとって今年は戦後77年というだけでなく、日本復帰50年という節目の年です。この詩から、みなさん自身が感じたこと・考えたことを大切にしてほしいと願っています。

こわいをして、へいわがわかった
沖繩市立山内小学校二年 徳元穂菜

びじゅつかんへお出かけ
おじいちゃんや
おばあちゃんも
いっしょに
みんなでお出かけ
うれしいな

こわくてかなしい絵だった
たくさんの人たちがしんでいた
小さな赤ちゃんや、おかあさん

風ぐるまや
チョウチョの絵もあったけど
とてもかなしい絵だった

おかあさんが、
七十七年前のおきなわの絵だと言った
ほんとうにあったことなのだ

たくさんの人たちがしんでいて
ガイコツもあった
わたしとおなじ年の子どもが
かなしそうに見ている

こわいよ
かなしいよ
かわいそうだよ
せんそうのはんたいはなに？
へいわ？
へいわってなに？

きゆうにこわくなって
おかあさんにくつついた
あたたかくてほっとした
これがへいわなのかな

おねえちゃんとけんかした
おかあさんは二人の話を聞いてくれた
そして仲なおり
これがへいわなのかな

せんそうがこわいから
へいわをつかみたい
ずっとポケットにいれてもっておく
ぜったいにおとさないように
なくさないように
わすれないように
こわいをして、へいわがわかった

3年生が修学旅行に行ってきました

7月25日（月）・26日（火）・27日（水）に奈良京都に修学旅行へ行ってきました。
感染予防対策を万全にして古都の良さに触れることができました。

